

## 事故概要

- 発生  
平成30年8月10日(金) 14時30分頃  
埼玉県防災ヘリが機体の一部を発見
- 墜落場所、状況
  - ・ 群馬県中之条町の山中(横手山付近)
  - ・ 「ぐんま県境稜線トレイル」全線開通に伴う山岳遭難の発生に備えた危険箇所の確認等の地形習熟訓練中に墜落したものの。
- 当日の気象状況(草津町のアメダスデータ・8時)  
南の風2kt(約1m/s)、天気:晴/曇り
- 搭乗者(全員死亡)  
9名(機長1名、整備士1名、防災航空隊員2名  
吾妻広域消防本部職員 5名)

## 群馬県防災航空隊の体制等

- 群馬県防災航空隊
  - ・ 運航管理体制
 

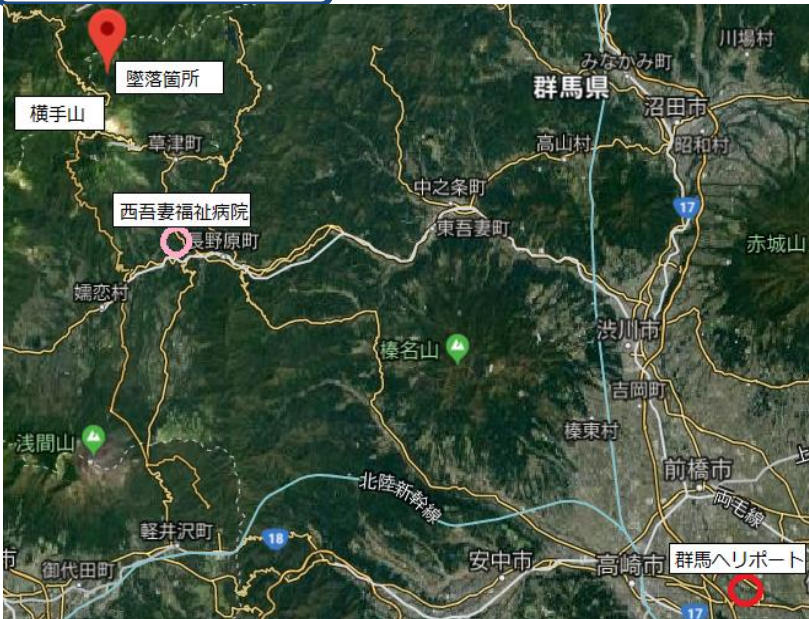
危機管理監	1名(総括管理者 県職員)
消防保安課長	1名(運航管理責任者 県職員)
防災航空隊係長	1名(運航管理責任者補佐 県職員)
防災航空隊長	1名(運航指揮者 消防本部から派遣※)
副隊長	2名(消防本部から派遣)
隊員	6名(同上)
操縦士	2名(東邦航空(株)社員)
整備士	3名(同上)
運航管理担当者	1名(同上)

※消防本部からの派遣者9名の身分は県職員に併任

  - ・ 群馬ヘリポート内
  - ・ 委託運航(委託先:東邦航空(株))

- 機体
  - ・ 使用機種 : ベル412EP
  - ・ 運航開始 : 平成9年5月～(21年3ヶ月)7,203時間(平成30年4月現在)
  - ・ 定員 : 15名
  - ・ 全幅・全長 : 2.8m×17.1m
  - ・ 最大重量 : 5,398kg【フライトレコーダー搭載なし(搭載義務なし)】
  - ・ 直近の点検 : 7月23日(25時間点検) 異常なし

## 【墜落現場位置図】



## 群馬県内の救助ヘリ等の体制

- ・ 県警ヘリ 1機
- ・ ドクターヘリ 1機
- ・ 相互応援協定に基づく近県防災ヘリ(7県)
- ・ 警察法「援助の要求」に基づく隣接県警ヘリ(3県)



# 群馬県防災ヘリ「はるな」墜落事故概要②

## 1 当日の運航計画

### ○タイムスケジュール

【平成30年8月10日(金)】

- 9:15 群馬ヘリポート離陸
- 9:35 西吾妻福祉病院着陸(吾妻広域消防本部5名搭乗)
- 10:25 西吾妻福祉病院着陸(吾妻広域消防本部5名降機)
- 10:45 群馬ヘリポート着陸

## 2 機体発見までの経過

- 8:53 国土交通省に飛行計画を通知
- 9:13 「はるな」が群馬ヘリポートを離陸
- 9:28 「はるな」が西吾妻福祉病院到着。吾妻広域消防職員5名搭乗
- 10:01 動態管理システムの通信データが途絶(渋峠付近)
- 10:40 防災航空隊員が動態管理システムの通信データ途絶を覚知
- 11:19 防災航空隊から国土交通省に「はるな」到着を通知
- 11:45 防災航空隊から消防保安課に連絡
- 11:48 県警ヘリ「あかぎ」に捜索出動を要請
- 12:50 県警ヘリ「あかぎ」離陸
- 12:57 防災航空隊から消防庁に「広域航空消防応援要請書」送付
- 13:20 埼玉県防災ヘリ、栃木県防災ヘリ出動(以後、新潟県・東京消防庁防災ヘリ出動)
- 13:30 群馬DMAT第1班出動(前橋赤十字病院。以降、第2班、第3班出動)
- 13:43 自衛隊に災害派遣要請
- 14:20 「群馬県防災ヘリコプター遭難事故対策本部」設置
- 14:30 埼玉県防災ヘリが中之条町横手山付近で「はるな」の機体の一部発見

## 【参考】消防防災ヘリ事故一覧(死亡事案)

- 平成6年12月22日(島根県防災航空隊)
  - ・ 救助事故想定訓練中にカラビナがスリングから外れて高さ15メートル地点から落下したものの
- 平成16年7月20日(埼玉県防災航空隊)
  - ・ 消防防災ヘリコプターからロープによる下降訓練中に高さ18メートル地点から落下したものの
- 平成21年9月11日(岐阜県防災航空隊)
  - ・ 救助事故事案出動中に墜落したものの
  - ・ ホバリング中に高度が下がり、後方に移動したため、MRBが付近の岩壁に接触して墜落したものと推定
- 平成22年7月25日(埼玉県防災航空隊)
  - ・ 救助事故事案出動中に墜落したものの
  - ・ 降下隊員のホイスト降下中に、フェネストロンが樹木と接触して方向保持不能となり、メイン・ローターも樹木に接触して墜落したものと推定
- 平成29年3月5日(長野県防災航空隊)
  - ・ 消防防災ヘリコプターで訓練に向かう途中、山中に墜落し、乗組員全員が死亡したものの

【※国土交通省資料より抜粋】